



**かけがえのない友**  
昭和51年卒  
中村 美知子  
(旧姓 加藤)

久しぶりに三田高校へ行きました。いつも通っていた桜田通りが広くなり東京タワーがとても大きく見えました。慶應大学も立派な建物となりあの当時とは別の場所にいる感じがしました。あれから三十年も月日が経っているのだとつくづく感じました。しかし、慶応仲通りは昔と同じ曲がりくねった細い道：いつもクラスマートフォンと学校の帰りに寄り道をしていた懐かしい道のままでした。

昨年十二月に二十六年ぶりに同期会を開きました。京都・新潟・福島からも集まり夜遅くまで昔話に花を咲かせました。宮古島のクラスマートフォンからも私の携帯に連絡がありみん



なと話をしました。看護師を続けている人・故郷に帰り仕事をしている人・東京で結婚した人・みんな久しぶりに逢って初めは随分変わったと思いましたが話をすれば高校時代のままでした。懐かしくなり別れるのが辛くなりましたが「又逢いましょう」と約束をしてさよならをしました。三田高校の思い出は私だけでなくみんな大切にしているのです。そしてこれからかけがえのない友となることでしょう。

**よみがえれ！半世紀**  
昭和34年卒  
赤羽 かつみ  
(旧姓 中村)

一、記憶の中のクラスメート「中野さん、中村さん、根本さん」。

教科担当教諭が点呼した名簿兼座席の順序でした。(唐突な書き出しで失礼します)

体育館に入つてすぐ右側の壁に据えられた大きな鏡の前、爪先でスツと立ち、スツと下ろす、くると体を一回転させると制服のスーツが勢いでふわっと広がる。髪をまとめた爽快さに加え、髪がふわっと広がる。髪をまとめた爽快さに加え、髪がふわっと広がる。髪をまとめた爽快さに加え、髪がふわっと広がる。私の驚愕はいか許りだったでしょう。

体育の時間(伊藤先生) 私たちは床の軋みを気にかけながらよくフォークダンスを楽しみました。中でも「オリエンタルダンス」の曲に乗って指先を繊細に移動させ、ここでも髪がふわっと広がる。髪をまとめた爽快さに加え、髪がふわっと広がる。髪をまとめた爽快さに加え、髪がふわっと広がる。私にも堪能で特に発音の美しさは格別でした。そして記

念写真撮影の時は体の向きを少々斜めにして「美とは、を既に認識していた彼女でした。この根本さんこそ皆様もよくご存知のスカルノ・デヴィ夫人だったのです。私といえば長野の田舎者で、写真は前を向いて立っているだけでした。その頃早朝四時起きの仕事に就いていた私は三時限の授業が中盤に入る頃必ずといってよい程睡魔におそわれました。その日は黒板に向いて、つまり顔をあげたまま、鉛筆を持ったまま眠ってしまった(席は後ろから三番目)担当教諭は承知して指名したのでしよう、私は気が付く余地もなく級友のドツと笑う声で目が覚める、ということがあります。球技大会、遠足、文集づくりなど、昔むかしの四年間皆様ほんとうにありがとうございました。

二、都電と東京タワー  
霞ヶ関停留所から都電に乗って飯倉の坂を下りる辺りから建設中の東京タワーが見えてきました。戦後の未復興は街並みや民家にもまだ影を落としていました。その中で鉄骨が日々積み重ねられていく壮大な姿をつららの通学でした。「皇太子殿下御婚約祝」で都電往復乗車券が二十五円でした。給食室の前は夕食のコップパンをかう人の列ができて「二個で二十五円にまげろ！」なんてかけ合っている先輩男子たちに出交したこともありました。

三、多感な思春期  
三田通りの映画館で「野菊の如き君なりき」がかかっています。原作に感化されていたので透かさず見に行き、純愛の理不尽に打たれポロポロ泣きました。授業放棄、入場料などの工面はどうしたのか思い出せません。街中には「湖愁」、「哀愁の街に霧が降る」などの青春歌謡がくる日もくる日も流れていて郷愁を募らされるばかりで眠れない夜もありました。

四、漢詩への陶醉  
二年の国語(小林先生)初めて習う漢文はそのリズムミカルな音調、儒学の奥深さ、漢字だけの重庄感、哀感漂う実話の数々、展開の多様性が面白く、副題には「長恨歌」が載っていました。私はすっかり魅せられて虜になってしまいました。そして、とうとう国語の教師になっていました。

五、三田高校定時制の行方  
平成十二年十月頃、都立定時制高校の統廃合の報道を知りました。

五、三田高校定時制の行方  
平成十九年五月、私は思い立って学校へ電話を入れました。副校長の矢島賢二先生が出られて、会長の若月様、「ともかき」二十年三月で完全廃止になることなどをお話くださいました。早速教育委員会より資料を取り寄せてみました。廃止になった内の五校(日比谷、三田、芝商業、青山、第一商業)が港区として統合され「六本木高校」の名称になり(校舎は旧城南高校)、三部制(昼、夜間、定時制)を以って平成十七年度より発足していました。少子化生徒の状況の多様化などで三田高校定時制全面廃止も納得することができました。

平成二十年三月八日、お別れ会が催されるようです、オセチ山の梶子、校庭、校舎(新)先生方に感謝の気持ちを行こうではあります。そして半世紀後の皆様と一緒に会えることができればどんなにか元気が出てくることでしょう。

五、三田高校定時制の行方  
平成十九年五月、私は思い立って学校へ電話を入れました。副校長の矢島賢二先生が出られて、会長の若月様、「ともかき」二十年三月で完全廃止になることなどをお話くださいました。早速教育委員会より資料を取り寄せてみました。廃止になった内の五校(日比谷、三田、芝商業、青山、第一商業)が港区として統合され「六本木高校」の名称になり(校舎は旧城南高校)、三部制(昼、夜間、定時制)を以って平成十七年度より発足していました。少子化生徒の状況の多様化などで三田高校定時制全面廃止も納得することができました。

平成二十年三月八日、お別れ会が催されるようです、オセチ山の梶子、校庭、校舎(新)先生方に感謝の気持ちを行こうではあります。そして半世紀後の皆様と一緒に会えることができればどんなにか元気が出てくることでしょう。